

令和8年度（2026年度）外国人留学生選抜試験Ⅰ期における出題ミスについて

このたび、令和7年10月11日（土）に実施しました外国人留学生選抜試験Ⅰ期におきまして、試験終了後に出題ミスがあることが判明いたしました。

受験生・保護者等並びに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことにつきまして深く反省し、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、今後、試験問題のチェック体制をさらに強化し、再発防止に努めてまいります。

なお、詳細につきましては以下をご覧ください。

◇出題ミスの概要

試験科目：筆記試験（日本語の読解力及び表現力に関する試験）

試験実施日：令和7年10月11日（土）

合格発表日：令和7年10月16日（木）

受験者数：1名（うち合格者数0名）

経緯：試験が終了した当日午後、採点時に発覚した。

ミスの内容：回答用紙の作成不備があり、大問「二」の最初に「問一」と記載すべきところ、「問二」と誤記していた。

問題の抜粋：大問「二」

問題用紙

問一「傍線部①「面倒くさい」を使った文を十字以上で作りなさい。」

問二「傍線部②「気まずい」を使った文を十字以上で作りなさい。」

回答用紙（問二を二つ記載していた）

問二（回答のための空欄）

問二（回答のために空欄）

対応：大問「二」の「問一」の配点を0点とし、次の問題「問二」の配点を5点から10点に得点調整し採点を行いました。結果として、合否判定に影響はありませんでした。

令和7年11月10日

大月市立大月短期大学

学長 柳沢 幸治